

令和 7 年 7 月 1 0 日

長野県知事 様

令和 6 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和 4 年度から令和 6 年度		
会 社 名	ミヤマ株式会社		
住 所	〒381-2283 長野市稲里一丁目 5 番地 3		
代 表 者 名	代表取締役 南 克明		
区 分	中間処理 ・ 最終処分		
許 可 番 号	2028000553 (産業廃棄物) 2078000553 (特別管理産業廃棄物)		
処 理 施 設 所 在 地 (複数ある場合はそれぞれ記入)	施設名	所 在 地	
	中野工場	中野市大字壁田 2 4 0 0 番地	
	(中間処理施設)		
担 当 部 署	中野工場		
担 当 者 名	工場長 林 宏行		
連 絡 先	T E L	0 2 6 9 - 2 3 - 0 5 1 1	
	F A X	0 2 6 9 - 2 3 - 0 5 2 0	
	電子メールアドレス	nakano_plant@miyama.net	

1 目標達成状況

* 当年度目標値は、当年度実践計画書への記載数字を記入する。

* 当年度実績値は、計画期間における目標値に対する実績値を記入する。

(1) リサイクル率実績 (中間処理の場合) (%)

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和 6 年度 目標値	令和 6 年度 実績値	令和 5 年度 実績値	令和 4 年度 実績値
燃え殻	13.0	18.2	10.6	10.4
廃プラスチック類	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 再生利用実績 (中間処理業者の場合)

(t)

廃棄物の種類	当年度目標値 及び実績値		過年度実績値		用 途
	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値	
燃え殻	150	207	121	134	路盤材
廃プラスチック類	4,000	3,199	3,300	4,035	燃 料

(3) 最終処分量実績

(t)

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値
燃え殻	1,000	930	1,022	1,153
廃プラスチック類	0	0	0	0

2 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理方法、排出ガス、排出水等に関する情報公開実績

当社ホームページに、毎月の処理量、排出ガス、排出水の分析データおよび焼却処理に関する維持管理情報を掲載し管理状況を公表した。

3 産業廃棄物処理施設 (中間処理施設等・最終処分場) の地域への公開実績

施設の名称	施設公開状況			
	日 時	対象者	人数	内 容
中野工場 (中間処理施設)	R6.10.18	中野市長丘 地区区長会	6名	施設の視察

4 中間処理・最終処分を委託した処理業者（施設）の現地確認実績（中間処理業者）

区 分	廃棄物の種類	現地確認結果（確認回数、確認日、確認状況等）
中間処理場	廃プラスチック類	2回（10/23 11/15）
	廃油	2回（12/5 1/30）
	金属くず	2回（10/23 11/15）
	他	3回（9/10 12/23 12/28）
最終処分場	汚泥	9回（6/13 7/31 8/5 9/13 11/21 12/12 12/19 12/20 12/26）

※その他、弊社委託全業者に対して文書による確認を実施し、問題のないことを確認している。

5 従業員教育（研修）実績

実施月日	対 象 者	実 施 内 容
R6.4.9 ～ 4.25	処理、技術開発、総務部門 46名	安全衛生教育 （5S活動推進教育）
R6.4.10 ～ 4.19	処理、技術開発、総務部門 46名	安全運転教育 （交通危険予知トレーニング）
R6.4.25 ～ 5.7	55歳以上の社員 8名	安全運転教育 （高齢運転者向けWebトレーニング）
R6.4.25 ～ 5.9	処理、技術開発、総務部門 46名	安全運転教育 （交通危険予知トレーニング）
R6.6.13 ～ 6.29	処理、技術開発、総務部門 46名	環境教育 （二酸化炭素排出量削減への取組み）
R6.8.7	処理部門 38名	安全衛生教育 （フォークリフトの点検とメンテナンス）
R6.8.17, 21	全部門 57名	環境教育 （救急救命、AED取扱い教育）
R6.6.13 ～ 6.29	全部門 57名	法令教育 （廃棄物処理法-誰が何をしたらどうなる？）
R6.10.8～10.21	処理、技術開発部門 39名	環境、法令教育 （化学物質管理教育）
R7.1.18 ～ 1.27	全部門 54名	安全運転教育 （急ぎの心理と交通事故防止）
R7.3.31	処理部門 35名	安全衛生教育 （フォークリフト事故事例、特性と危険性）
R6.5.29	全部門 59名	自衛消防組織による消防訓練
R6.9.6, 14	三交替社員 19名	夜間消防訓練
R6.9.21 ～ 30	収集運搬部門 11名	廃棄物の漏洩を想定した対応訓練
R6.9.27 ～ 10.8	処理部門 36名	廃棄物の漏洩を想定した対応訓練
R6.10.1	全部門 56名	地震を想定した対応訓練

外部講習及び資格取得実績

講習・資格内容	実施月	受講人数	主 催
はい作業主任者技能講習	5, 9 月	2 名	長野県労働基準協会
冷媒回収技術者登録講習	5 月	1 名	冷媒回収推進・技術センター
安全管理者選任時研修	5 月	1 名	長野県労働基準協会
職長・安全衛生責任者教育	5 月	4 名	長野県労働基準協会
丸のこ等取扱作業従事者教育	6 月	1 名	長野県建設業協会
車両系建設機械運転技能講習（整地）	7 月	1 名	長野県労働基準協会
車両系建設機械運転技能講習（解体）	8 月	1 名	長野県労働基準協会
安全運転管理者法定講習	9 月	1 名	長野県安全運転管理者協会
危険物取扱者保安講習	9, 10, 11 月	6 名	長野県危険物安全協会
保護具着用管理責任者講習	2 月	1 名	長野県労働基準協会

6 排出事業者への協力要請実績

処理依頼物件について、排出事業者に分別・荷姿変更等の協力要請を随時実施

排出事業者の工場見学 136 件（WEB対応2社） 来場者 260 名

7 リサイクル技術向上に向けた取組み実績

処理依頼物件のリサイクル成分、有害物質等の含有量を分析して、リサイクルに向けた処理方法の検討をおこない対応している。

8 不法投棄・不適正処理を発見した場合の協力実績

特になし

9 その他独自に取り組んだ事項についての実績

代替素材への転換※1、環境認証制度※2の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

- ・排ガス、排出水について、法規制値よりさらに厳格な自主管理目標値を設定し、監視・測定を実施。また、排出ガスは法規制項目以外も自主測定対象として測定を実施した。
- ・環境マネジメントシステムISO14001および労働安全衛生マネジメントシステムISO45001の認証を取得し、これらの活動を中心として環境および安全衛生活動を推進している。
- ・電子マニフェストは平成14年より運用開始し、使用率は徐々に増加している。
- ・2021年6月より工場で使用している電力に再生可能エネルギー由来の「信州Greenでんき」を使用している。
- ・廃棄物の性状を精査し、処分方法を焼却から別処理に変更することで二酸化炭素排出量削減を図っている。

※1 化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと

※2 環境 ISO 14001、エコアクション 21 等